

# シータテハ

*Polygonia c-album*

タテハチョウ科



シータテハ

撮影-吉原利之

## 名前の由来

翅の裏側に白く小さな模様があり、これをアルファベットのC(シー)と読んで、「Cのあるタテハチョウ」とした。タテハは止まった時に翅をたてることからきているという。漢字名：C蛺蝶

## 特定種

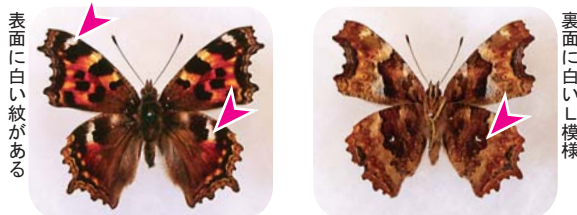
該当なし。

## 形態的特徴

翅の切れ込みが大きく、独特な形をしている。名前のおり後翅裏面に白いCの字の模様があるやや小形のタテハチョウ。翅表の地色は赤褐色で黒い斑紋がある。夏型は翅の切れこみが少なく色も淡いが、秋型は翅の切れこみが深く、地色も濃くなる。

## 類似種と見分け方

キタテハ、エルタテハ。どちらにもシータテハと同様に翅のウラ面に白く小さな模様がある。(エルタテハではこれをLと呼ぶ)キタテハには後翅表面に青色紋がある。十勝地方には分布しない。エルタテハは翅表の前翅頂と後翅前縁付近に白い紋がある。



類似種、エルタテハ。オス (左が表、右がウラ)



シータテハ。夏型、表 (左がオス、右がメス)



裏面に白いC模様

シータテハ。夏型、ウラ (左がオス、右がメス)



シータテハ。秋型、表 (左がオス、右がメス)



シータテハ。秋型、ウラ (左がオス、右がメス)

チョウ標本：吉原利之氏作成・所蔵

## 生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
卵期		■			■							
幼虫期		■	■		■							
蛹期				■		■						
成虫期	■			■	■	■	■	■	■	■	■	■

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)  
草花

(外来種)  
草花

哺乳類

(水辺)  
鳥類

(草原・樹林)  
鳥類  
ワシ・タカ

## 生育環境・分布

平地から山地の林道、溪流沿い、小さな空き地など。日光を浴びて路上などに静止することが多く、花や樹液にも集まる。

**分布：**国外分布は、ユーラシア大陸などに広く分布。国内分布は、北海道、本州、四国、九州。西日本各地では

山地性となり分布地は局限される。北海道内分布は、全域。

十勝地方では、平野部から山間部まで普通に見られる。

## 繁殖生態・寿命

年2回発生。夏型は7月～8月、秋型は8月～9月に出現する。越冬態は成虫。

春の産卵は食樹の若葉の先端に1卵ずつ行われているが、夏型の産卵については食草とともによく調べられていない。

幼虫は葉裏で生活し、1齢幼虫は葉の裏から小さな穴を

開けるように食う。終齢幼虫では葉をつづって簡単な巣を造ることもある。幼虫が見つかるのは林道などの空間に張り出した食樹の下部の枝であるが、他のタテハチョウ類のような集団をつくることはない。

蛹化は食樹付近の枯枝などに下垂する形で行われると考えられるが、北海道での観察例はない。寿命：不明。

## 他生物との関わり

\*幼虫はハルニレ、オヒョウ、などのニレ科木本植物とカラハナソウ、コアカソ、アカソ、ホソバイラクサなどのイラクサ科植物を食樹・食草とする。

\*成虫の吸蜜植物としてアキタブキ、ヒヨドリバナ、ノリウツギ、アキノキリンソウ、セイヨウタンポポ、エゾ

ノキツネアザミなどが確認されているほか、樹液も好み、カシワなどの樹にも集まる。その他熟した果物や動物の死体や糞にも集まる。

\*天敵としてはコマユバチの一種やドリバエの一種に寄生された報告がある。

## 幼虫の食性（食樹・食草）

ハルニレ、オヒョウなどのニレ科木本植物とカラハナソウ、コアカソ、アカソ、ホソバイラクサなどのイラクサ科植物。



ハルニレ。シータテハ幼虫の食樹の一つ



エゾイラクサ。シータテハ幼虫の食草の一つ

## 興味深い話

■幼虫は食草の葉の裏面に単独で静止しており、物に驚くと落下する習性がある。

■シータテハの翅の裏面は夏型では枯葉に、秋型は樹の樹皮によく似た模様をしている。特に秋型では樹の表面

に生える地衣類と同様の暗緑色の斑紋まで出現している。保護色とは本当に見事なものである。

■十勝地方のアイヌ語では、チョウ類一般を「マレウレウ」という。

## 配慮事項

ニレ科、イラクサ科などの食樹、食草の自生地が必要。

### 参考文献

「原色蝶類検索図鑑」猪又敏男 北隆館 1990

「日本のチョウ」海野和男・青山潤三 小学館 1981

「原色昆虫大図鑑Ⅰ（蝶蛾編）」北隆館 1978

「学研生物図鑑 昆虫Ⅰチョウ」監修 白水隆 学習研究社 1983

「十勝の蝶」大和与三追悼集 十勝蝶の会 1993

「北見の蝶」木村辰正 北見市教育委員会 1994

「北海道の蝶」永盛拓行・永森俊行・坪内純・辻規男 北海道新聞社 1986

「原色日本蝶類生態図鑑（Ⅲ）」福田晴夫・浜栄一 他 保育社 1983

「知里真志保著作集 別巻Ⅰ 分類アイヌ語辞典 植物編・動物編」知里真志保、平凡社 1976

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)  
草花

(外来種)  
草花

哺乳類

(水辺)  
鳥類

(草原・樹林)  
鳥類